

## 最近の管内経済概況

(2023年5月の経済指標を中心として)

～ 持ち直しの動きがみられる ～

最近の動きをみると、

○生産活動は、弱い動きとなっている。

○個人消費は、持ち直している。

○観光は、緩やかに改善している。

○公共工事は、増加した。

○住宅建設は、弱まっている。

○民間設備投資は、増加している。

○雇用動向は、弱含んでいる。

○企業倒産は、件数、負債総額とも減少した。

全体として、管内経済は、持ち直しの動きがみられる。

なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2023年7月20日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局  
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : bz1-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

# 管内経済概況判断の推移

(2023年7月現在)

| 発表月    | 2023年2月          | 3月                      | 4月                | 5月               | 6月                | 7月            | 前月との判断比較 |
|--------|------------------|-------------------------|-------------------|------------------|-------------------|---------------|----------|
| 総括判断   | 持ち直しの動きに弱さがみられる  | <u>持ち直しの動きがみられる</u> (↗) | 持ち直しの動きがみられる      | 持ち直しの動きがみられる     | 持ち直しの動きがみられる      | 持ち直しの動きがみられる  | ➡        |
| 生産活動   | 弱い動きとなっている       | 弱い動きとなっている              | 弱い動きとなっている        | 弱い動きとなっている       | 弱い動きとなっている        | 弱い動きとなっている    | ➡        |
| 個人消費   | 緩やかに持ち直している      | <u>持ち直している</u> (↗)      | 持ち直している           | 持ち直している          | 持ち直している           | 持ち直している       | ➡        |
| 観光     | 緩やかに改善している       | 緩やかに改善している              | 緩やかに改善している        | 緩やかに改善している       | 緩やかに改善している        | 緩やかに改善している    | ➡        |
| 公共工事   | 減少した             | 減少した                    | 減少した              | 減少した             | <u>増加した</u> (↗)   | 増加した          | ➡        |
| 住宅建設   | 持ち直しの動きに弱さがみられる  | 持ち直しの動きに弱さがみられる         | <u>弱まっている</u> (↘) | 弱まっている           | 弱まっている            | 弱まっている        | ➡        |
| 民間設備投資 | 増加している           | 増加している                  | 増加している            | 増加している           | 増加している            | 増加している        | ➡        |
| 雇用動向   | 緩やかに持ち直しの動きがみられる | 緩やかに持ち直しの動きがみられる        | 緩やかに持ち直しの動きがみられる  | 緩やかに持ち直しの動きがみられる | <u>弱含んでいる</u> (↘) | 弱含んでいる        | ➡        |
| 企業倒産   | 件数、負債総額とも増加した    | 件数、負債総額とも増加した           | 件数は増加、負債総額は減少した   | 件数は増加、負債総額は減少した  | 件数は増加、負債総額は減少した   | 件数、負債総額とも減少した | ↘        |

注：下線部は、前月から判断を変更した部分。

↗ 上方修正   ➡ 据え置き   ↘ 下方修正

# 生産活動 ～ 弱い動きとなっている ～

5月の鉱工業生産は、前月比▲0.7%と2か月連続で低下した。前年同月比は▲3.1%と13か月連続で低下した。低下業種は、窯業・土石製品工業など8業種となった。上昇業種は、鉄鋼業など6業種となった。

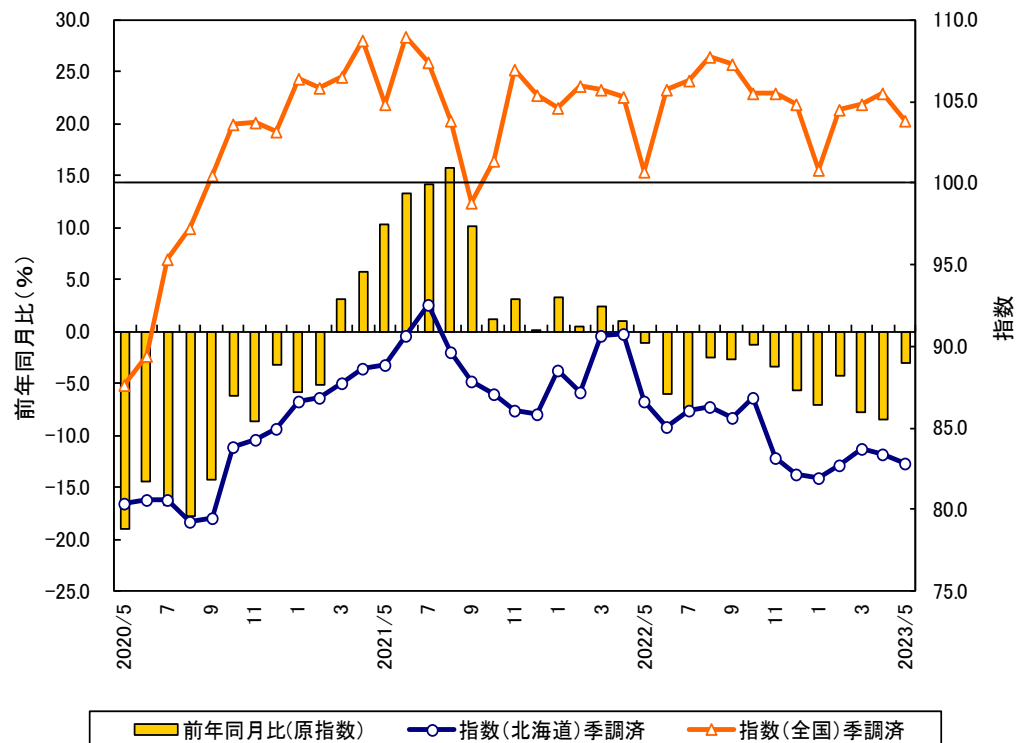
< 5月 >

季節調整済指数

北海道（速報） 82.8（前月比▲ 0.7%）

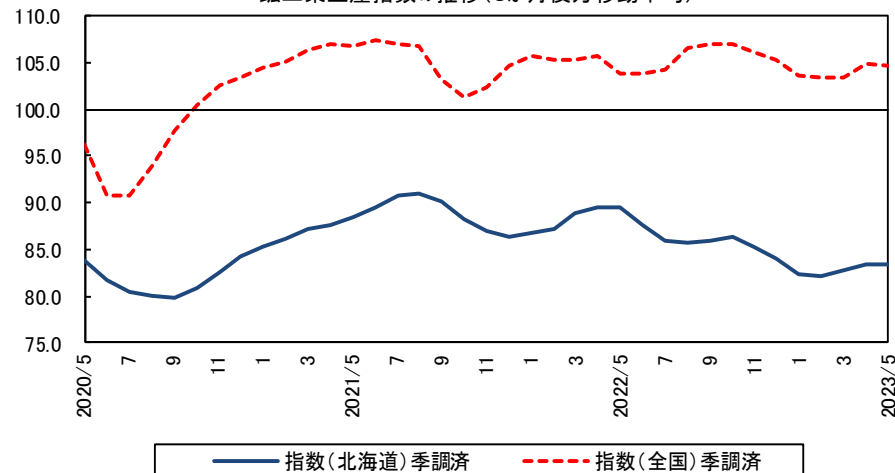
全 国（速報） 103.8（前月比▲ 1.6%）

鉱工業生産指数（2015年=100.0）※全国は2020年基準



|           | 業 種          | 前月比<br>(%) | 前年同<br>月比(%) | 主な品目       |
|-----------|--------------|------------|--------------|------------|
| 低下<br>8業種 | 窯業・土石製品工業    | ▲ 13.4     | ▲ 14.7       | 窯業・土石製品    |
|           | パルプ・紙・紙加工品工業 | ▲ 7.3      | ▲ 10.2       | 印刷用紙（非塗工類） |
|           | 輸送機械工業       | ▲ 4.4      | + 5.0        | 自動車部品      |
| 上昇<br>6業種 | 鉄鋼業          | + 16.4     | ▲ 5.1        | 鋼材         |

鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均)



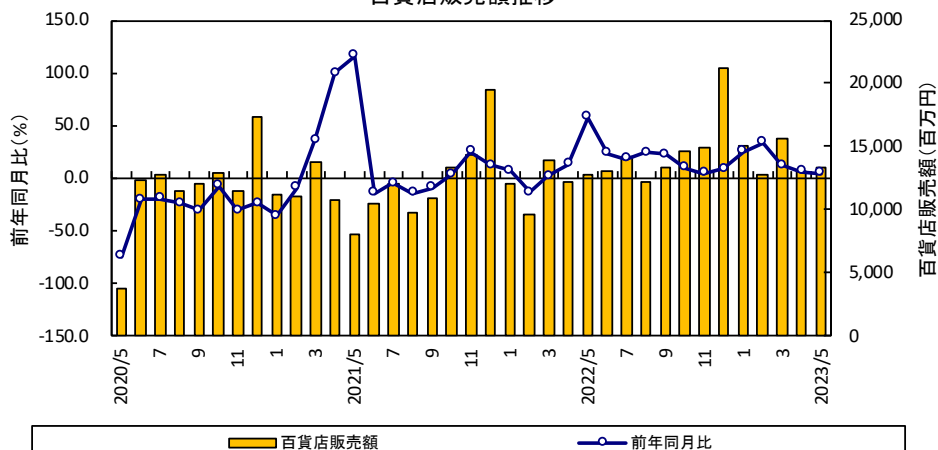
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

# 個人消費 ～ 持ち直している ～

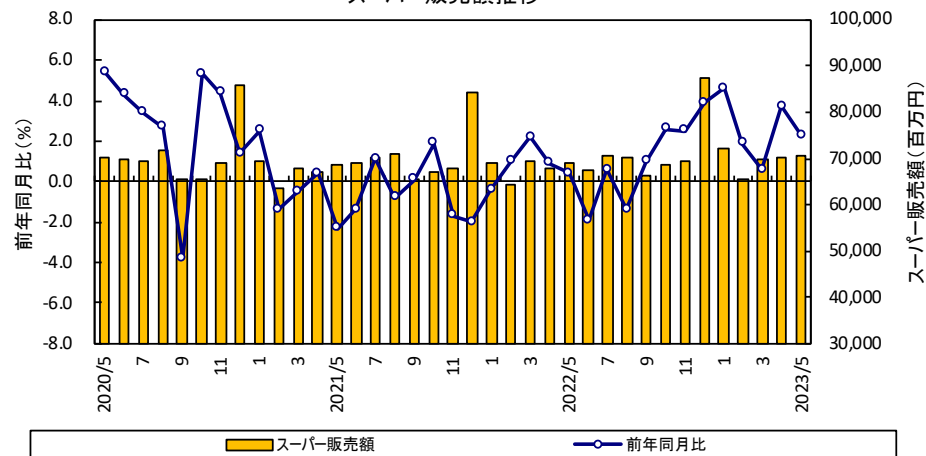
5月の個人消費は、家電とホームセンターが前年を下回ったものの、他の5業態は前年を上回った。

- ・百貨店は、高級ブランド品の売上げが堅調で、前年同月比+4.5%と15か月連続で前年を上回った。
- ・スーパーは、値上げの影響で飲食料品の売上げが増加し、同+2.3%と9か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアは、同+6.6%と19か月連続で前年を上回った。

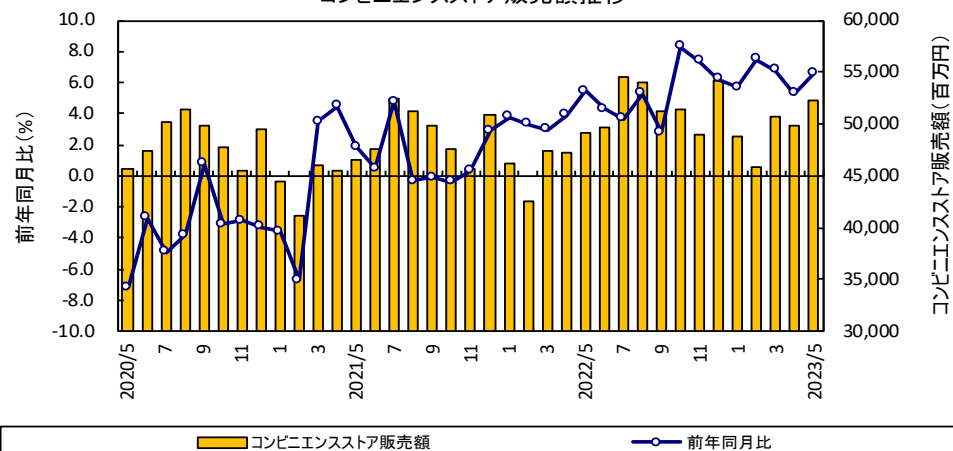
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移

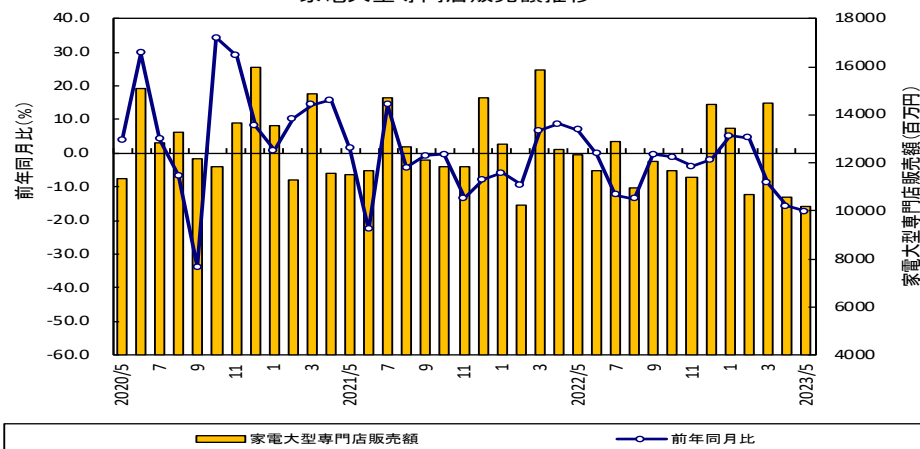


## 【ヒアリング内容】

- ・高級ブランドの時計やハンドバッグ、宝飾品などの高級商品が国内富裕層向けに引き続き好調だった。化粧品はタッチアップが本格的に再開し、メイクアップやUVケア商品の売上げが良かった。試食が解禁され、物産展も好調だった。(百貨店)
- ・外出需要の増加で客数が増えた。弁当や惣菜の売上げが好調なほか、大型連休や新型コロナウイルス感染症の分類変更により、バーベキューやトラベルなど行楽関連商品の売上げが伸長した。一方で、買上点数の減少など、消費者の節約志向が続いている。(スーパー)
- ・人流増加と値上げの影響で売上げが好調だった。特にオフィス街の売上げが良かった。また、惣菜や冷凍食品の売上げが引き続き好調だった。一方で、酒類などの嗜好品の買上点数が引き続き減少しており、消費者の節約志向がうかがえる。(コンビニエンスストア)

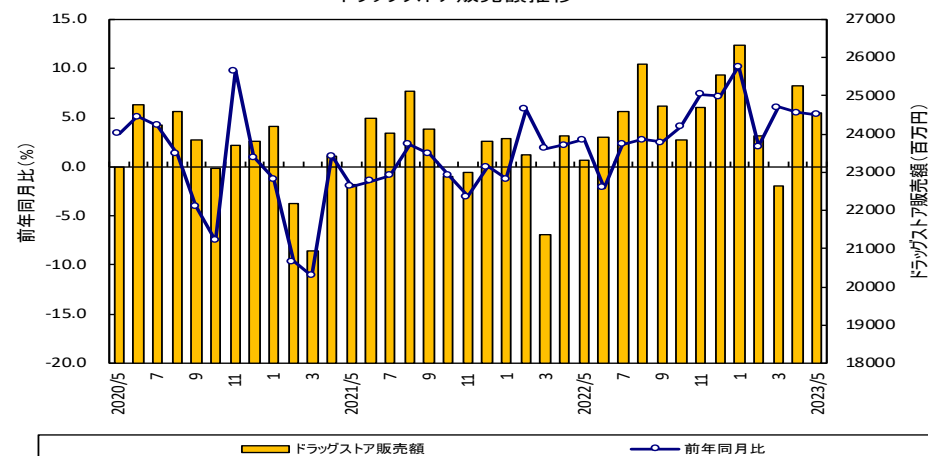
- ・家電大型専門店は、同▲17.3%と3か月連続で前年を下回った。ドラッグストアは、同+5.3%と11か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同▲0.7%と2か月連続で前年を下回った。
- ・新車販売は、同+28.8%と9か月連続で前年を上回った。

家電大型専門店販売額推移



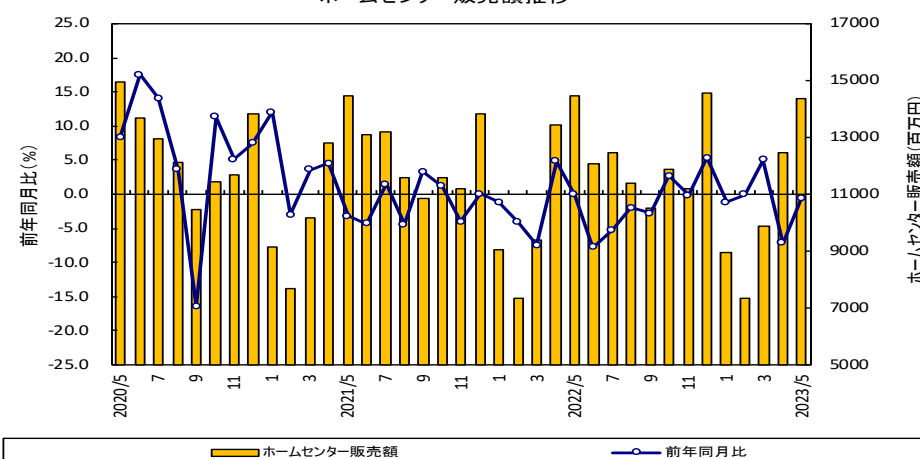
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

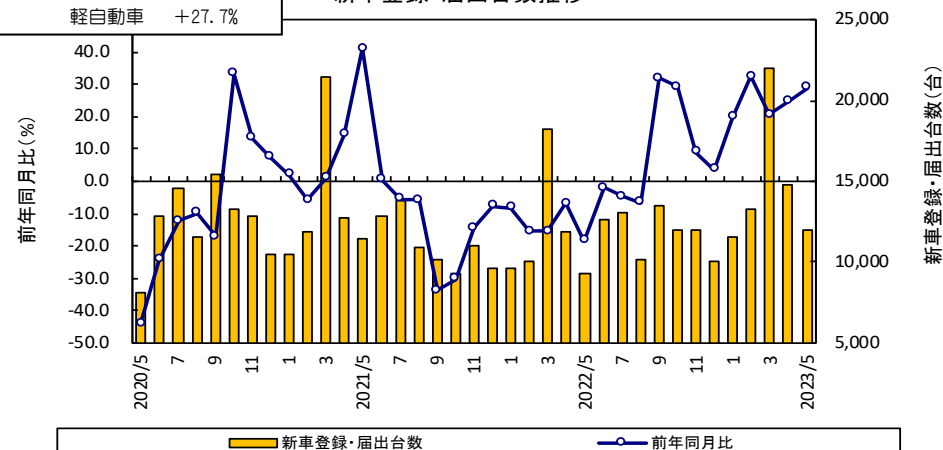
ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

< 5月 > 普通乗用車 +43.3%  
小型乗用車 +13.6%  
軽自動車 +27.7%

新車登録・届出台数推移



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

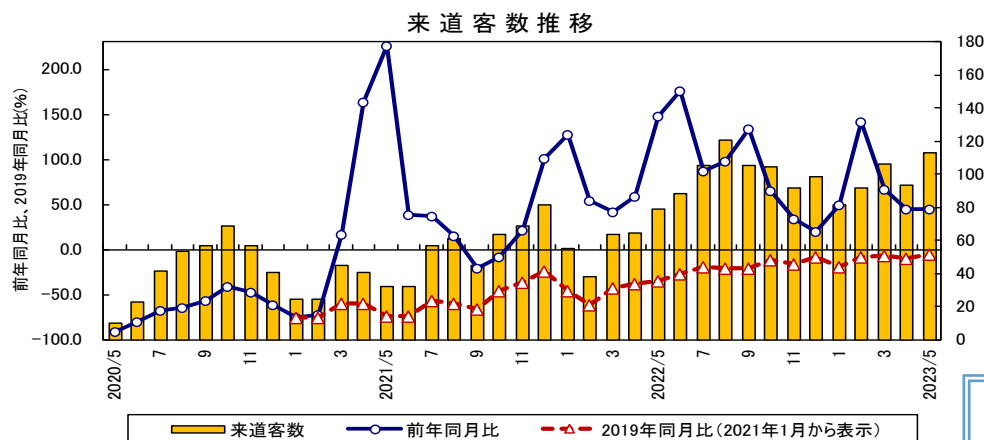
### 【ヒアリング内容】

- ・昨年好調だったエアコンの反動減により、引き続き売上げが減少した。（家電大型専門店）
- ・台湾を中心としたインバウンドが好調で、特にナショナルブランドの医薬品の売上げが良かった。また、国内客向けの販売では食品が好調となっている。（ドラッグストア）
- ・比較的天候に恵まれた日が多く、キャンプ用品やバーベキュー用の燃料などレジャー部門の売上げが好調だったものの、全体としては客数の減少により売上げが前年を下回った。（ホームセンター）

# 観光 ～ 緩やかに改善している ～

5月の来道客数は、前年同月比+44.4%（2019年同月比▲5.1%）と19か月連続で前年を上回った。また、道内外外国人入国者数は、62,965人であった。

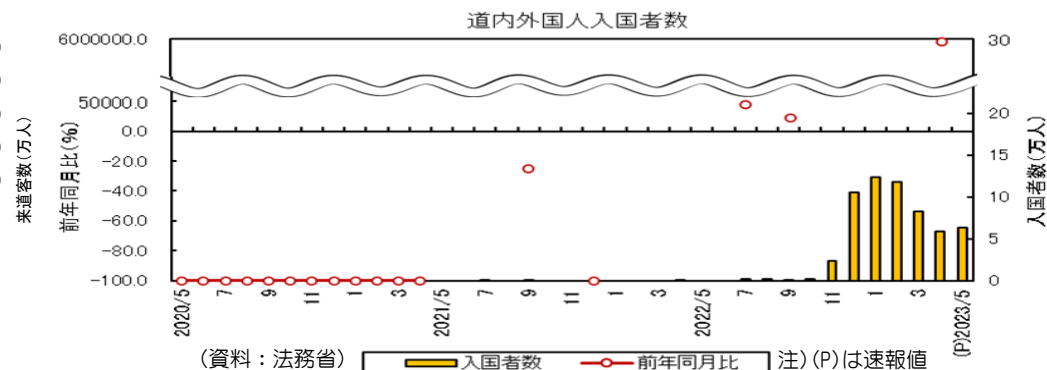
<5月> 入国者数 62,965人（- %）



<5月> 来道客数 1,134,321人（+44.4%）

※北海道外から航空機（国内線）、JR（北海道新幹線）、フェリーを利用して来道した旅客数。  
※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

（資料：（公社）北海道観光振興機構）

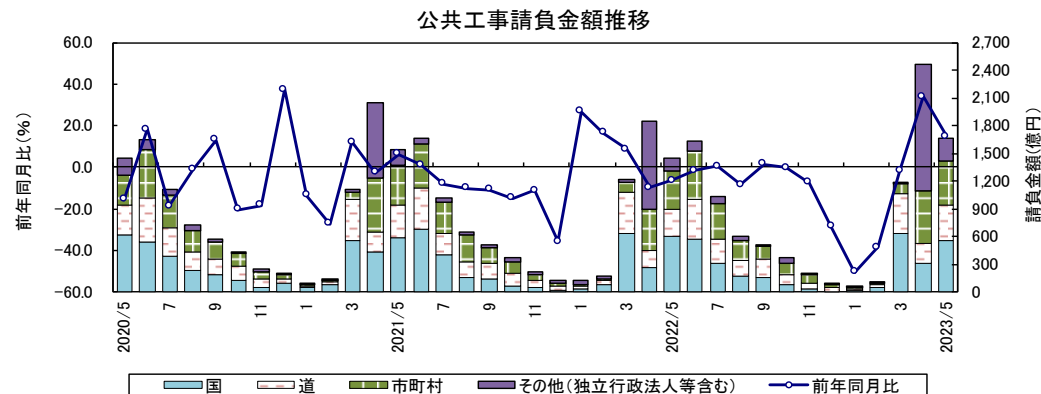


## 【ヒアリング内容】

- 5月の大型連休期間中は道内外の観光客が多く、中旬以降は修学旅行やスポーツ合宿の受入れもあり、宿泊施設の稼働率は前年より好調。インバウンドは引き続きアジア圏が中心だが、欧米からの観光客もみられた。6月は、団体ツアーの観光バスが多くみられ、主要観光地では観光客の戻りを実感する声も聞かれた。一方で、バス運転手不足の影響が出てきており、観光バスの手配が厳しいという話もある。（観光協会）

# 公共工事 ～ 増加した ～

5月の公共工事請負金額は、国は前年を下回ったが、道、市町村は前年を上回り、前年同月比+14.9%と2か月連続で前年を上回った。



<5月>

北海道 +14.9%

(内 訳)

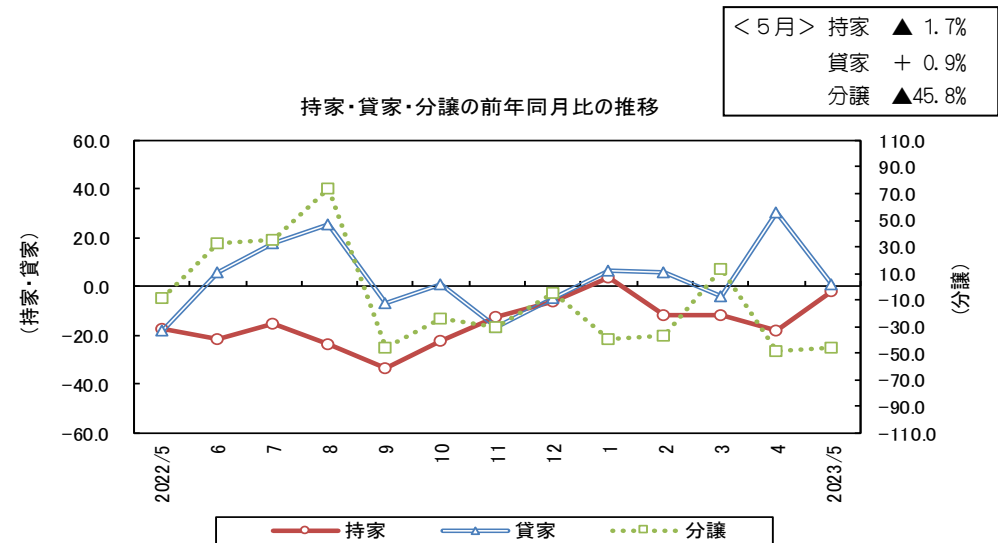
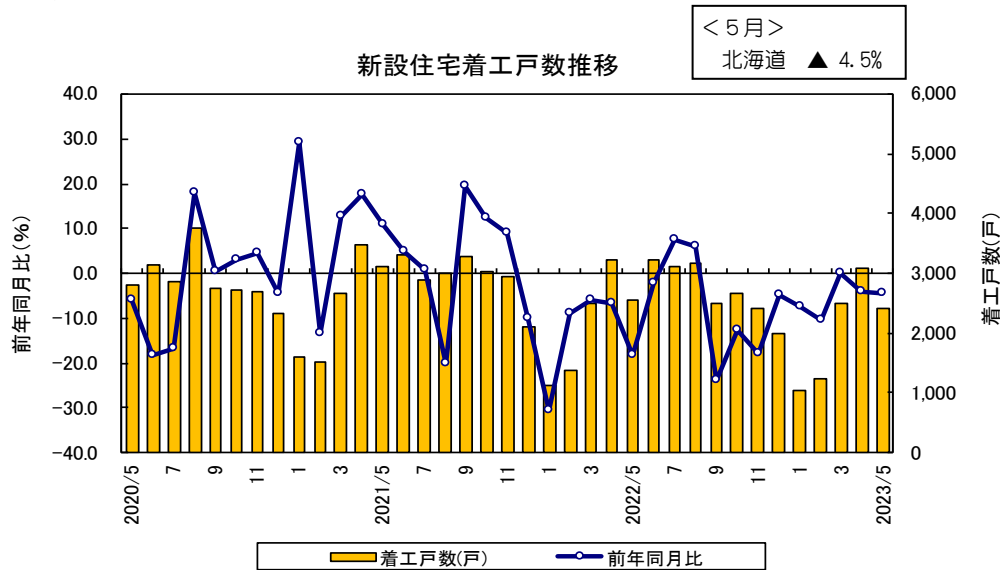
国 ▲6.7% 道 +27.9% 市町村 +12.6% その他 +93.2%

（請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額）

（資料：北海道建設業信用保証（株）ほか2社）

# 住宅建設 ～ 弱まっている ～

5月の新設住宅着工戸数は、貸家は前年を上回ったが、持家、分譲は前年を下回り、前年同月比▲4.5%と9か月連続で前年を下回った。



(資料：国土交通省)

# 民間設備投資 ～ 増加している ～

2023年度の設備投資計画は、全体で前年度比+1.5%と2年連続で前年度を上回った。

## 日銀短観の設備投資動向

2023年7月3日発表

|      | 2022年度  | 2023年度  |
|------|---------|---------|
| 北海道  | + 11.3% | + 1.5%  |
| 製造業  | + 25.6% | + 25.2% |
| 非製造業 | + 6.8%  | ▲ 7.2%  |
| 全国   | + 9.2%  | + 11.8% |

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

## 法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2023年6月13日発表

|      | 2022年度  | 2023年度  |
|------|---------|---------|
| 全産業  | + 26.0% | ▲ 3.8%  |
| 製造業  | + 34.7% | + 14.9% |
| 非製造業 | + 24.0% | ▲ 9.0%  |

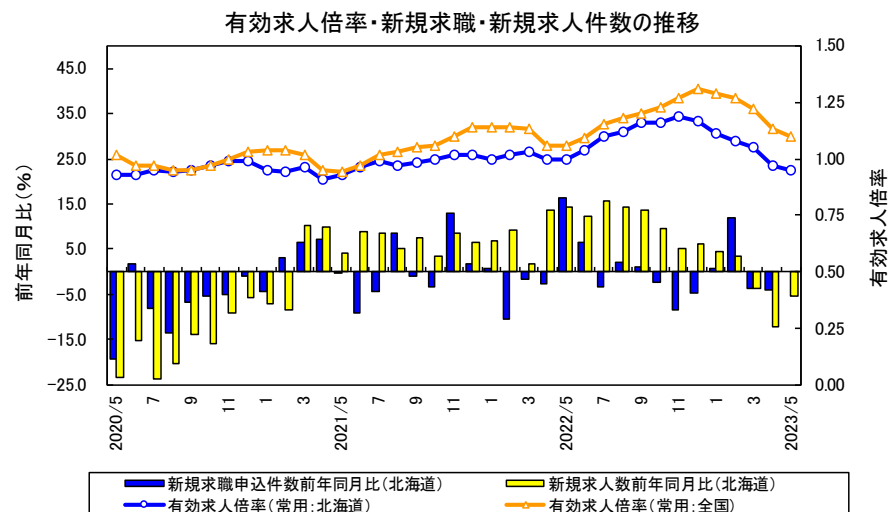
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

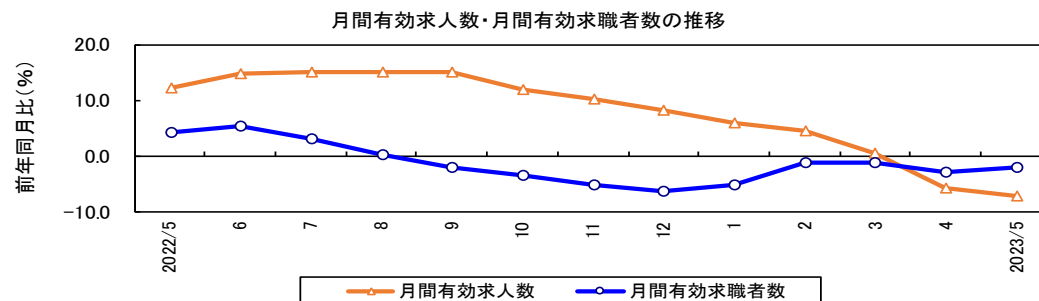
# 雇用動向 ～ 弱含んでいる ～

5月の有効求人倍率は、0.95倍と前年同月差0.05ポイント低下し、2か月連続で前年を下回った。



|        |                 |        |  |
|--------|-----------------|--------|--|
| < 5月 > |                 |        |  |
| 全 国    | 有効求人倍率(常用)      | 0.95倍  |  |
|        | 新規求職人数(前年同月比)   | ▲ 5.5% |  |
|        | 新規求職申込件数(前年同月比) | ▲ 0.0% |  |
|        | 有効求人倍率(常用)      | 1.10倍  |  |

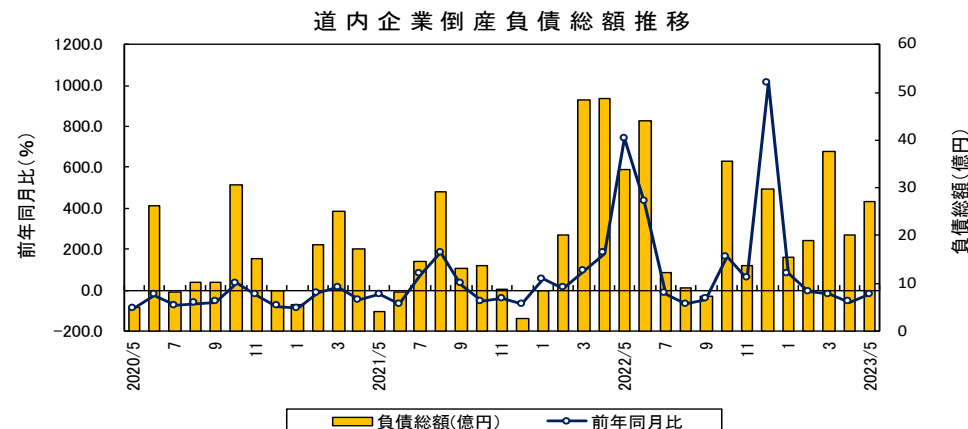
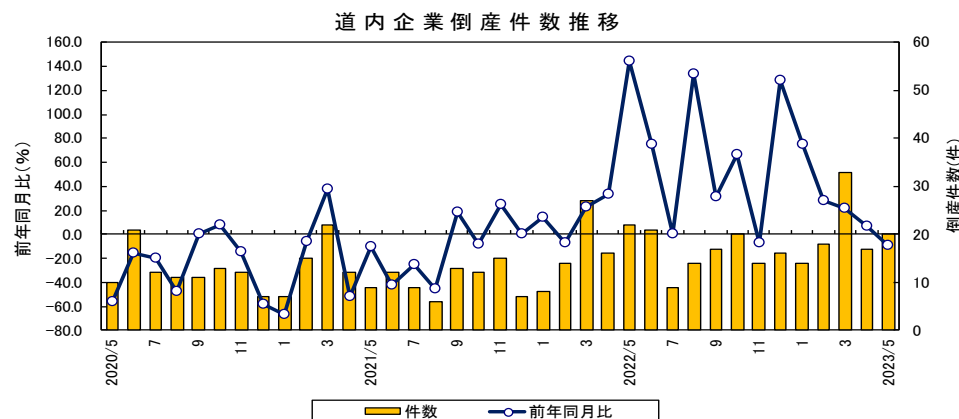
|        |                 |        |  |
|--------|-----------------|--------|--|
| < 5月 > |                 |        |  |
| 月間有効求人 | 人数(前年同月比)       | ▲ 7.1% |  |
|        | 月間有効求職者数(前年同月比) | ▲ 1.9% |  |



(資料：厚生労働省、北海道労働局)

# 企業倒産 ～ 件数、負債総額とも減少した ～

5月の倒産件数は20件で、前年同月比▲9.1%（2件減）と6か月ぶりに前年を下回った。また、負債総額は27億円で、同▲20.4%と4か月連続で前年を下回った。



(資料：(株)東京商工リサーチ)